

平成22年度

新宿駅西口地域地震防災訓練報告書

平成23年1月

工学院大学



# 平成22年度新宿駅西口地域地震防災訓練報告書

## 目 次

第1章	平成22年度新宿駅西口地域地震防災訓練の概要	
1. 1	地震防災訓練の目的	1
1. 2	地震防災訓練の内容	1
第2章	工学院大学地震防災訓練	
2. 1	工学院大学地震防災訓練の概要	11
2. 2	情報収集・伝達システムの概要	17
2. 3	防災用資機材の概要	23
2. 4	訓練結果	25
2. 5	学生・教職員対象アンケート結果	53
第3章	新宿西口現地本部訓練	
3. 1	新宿駅周辺滞留者対策訓練の概要	65
3. 2	新宿西口現地本部の組織体制・運営体制等	71
3. 3	訓練結果	81
3. 4	新宿西口現地本部要員アンケート結果	90
3. 5	訓練の成果と課題	93
第4章	多数傷病者対応訓練	
4. 1	はじめに	97
4. 2	訓練の目的	97
4. 3	訓練概要および訓練結果	98
4. 4	模擬傷病者・応急救護ボランティアに対するアンケート結果	109
4. 5	訓練の成果と課題	125
第5章	次年度に向けて	
5. 1	意見交換会	127
5. 2	新都心の地域減災セミナー受講者からの意見	129
5. 3	見学者からの意見	135

## 参考資料編

- 参考資料 1 新宿区プレスリリース資料
- 参考資料 2 新宿駅西口地域地震防災訓練案内・配布資料
- 参考資料 3 工学院大学地震防災訓練資料
- 参考資料 4 新宿西口現地本部訓練資料
- 参考資料 5 多数傷病者対応訓練資料
- 参考資料 6 防災イベント資料
- 参考資料 7 意見交換会次第
- 参考資料 8 新都心の地域減災セミナーアンケート用紙

## 第1章 平成22年度新宿駅西口地域地震防災訓練の概要

### 1.1 地震防災訓練の目的

### 1.2 地震防災訓練の内容



## 第1章 平成22年度新宿駅西口地域地震防災訓練の概要

### 1.1 地震防災訓練の目的

大地震が発生した場合、交通機関の停止により新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱し、多数の傷病者が発生する可能性があるが、行政機関は膨大に発生する被害の全てに対応することは極めて困難である。このため、平成19年度に新宿駅周辺滞留者対策訓練協議会を立ち上げ、新宿駅周辺の滞留者対策防災訓練を実施し、さらに平成21年度には新宿駅周辺防災対策協議会として改変し、自助・共助・公助の役割分担による新宿ルール案を策定するなど、新宿駅周辺の地震防災対策を推進してきた。

平成22年度は、新宿駅西口地域の超高層ビル街区において、5つのビル事業者が平成21年6月改正消防法に対応した地震防災訓練を同時に実施する。一方、工学院大学新宿校舎1階に設置する新宿西口現地本部においては、地域事業者等が連携した情報収集と情報集約、新宿区・災害対策本部を介した新宿東口現地本部・帰宅困難者支援情報提供ステーションとの災害情報受発信を行う。並行して、新宿駅西口地域で多数の傷病者が発生したことを想定し、地域の応急救護所を工学院大学新宿校舎1階に立ち上げ、地域の医療従事者と非医療従事者が連携した傷病者対応訓練もあわせて実施する。これら訓練を通じて、新宿ルールを検証するとともに、超高層ビル街区の震災対策上の課題を見いだすことを目的とする。

### 1.2 地震防災訓練の内容

#### (1) 訓練概要

主体：新宿駅周辺防災対策協議会・新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会

実施日時：平成22年10月5日（火） 14時～16時30分

想定地震：実施日の14時に、首都圏で震度6弱以上の地震が発生

規模：M7.3、震源地：東京湾北部、深さ：30～50km、風速：15m/秒

訓練目的：新宿ルールの検証、超高層ビル街区の震災対策上の課題の抽出

#### ①自助の基本行動ルール「組織は組織で対応する」

14:00～15:30 地震防災訓練（※一部、実施時間が異なる）

#### ②共助の基本行動ルール「地域が連携して対応する」

公助の基本行動ルール「公的機関は地域をサポートする」

14:30～16:30 新宿西口現地本部訓練、多数傷病者対応訓練

#### ③その他

15:00～16:30 防災イベント

#### (2) 新宿駅周辺防災対策協議会・新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会

委員長 エステック株式会社 伊藤 隆文

副委員長 住友不動産株式会社 小泉 雅一

株式会社損保ジャパン 片山 郁夫

委員

新宿西口商店街振興組合 佐藤 昌之

西新宿商興会 栗原 正司  
西新宿一丁目商店街振興組合 川名 若雄  
新宿新都心開発協議会（SKK） 佐藤 信一  
新宿エルタワー管理株式会社 松尾 利秋  
株式会社新宿アイランド 加納 博  
工学院大学 田村 省三  
工学院大学 高橋 章  
工学院大学 山口 拓央  
東京都総務部 赤木 宏行  
東京都医療政策部 田中 誠人  
東京医科大学病院 今野 和行  
東京医科大学 太田 祥一  
東京女子医科大学 武田 宗和  
日本赤十字社東京都支部 田中 真人  
東京消防庁新宿消防署 小山 信雄

#### 事務局

工学院大学 久田 嘉章  
工学院大学 村上 正浩  
株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 児島 正  
株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 新藤 淳  
株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 川瀬 俊治  
株式会社イー・アール・エス 鱒沢 曜  
鹿島建設株式会社 宮村 正光  
新宿区区長室危機管理課 平井 光雄  
新宿区区長室危機管理課 酒井 孝  
新宿区区長室危機管理課 高橋 美由紀

#### ※新宿駅西口地域防災対策研究会

座長 工学院大学 久田 嘉章、副座長 住友不動産株式会社 小泉 雅一

#### ※新宿駅西口地域応急救護研究会

座長 日本赤十字社東京都支部 田中 真人、副座長 東京医科大学 太田 祥一

(順不同、敬称略、2010年10月5日現在の所属)

### (3) 訓練の主な流れと参加機関等

平成22年10月5日、14時に首都圏で震度6弱以上の地震が発生したことを想定し、新宿駅西口地域で地震防災訓練を実施した。本訓練は新宿駅周辺防災対策協議会・新宿駅西口地域地震防災訓練実行委員会が主体となって行ったものであり、工学院大学の教職員や学生、新宿駅西口地域の事業者・医療機関・防災関係機関など1,000名を超える参加者が訓練を行った。



訓練では、まず、14時から15時30分にかけて、工学院大学、エステック情報ビル、新宿センタービル、損保ジャパングループ、住友不動産株式会社が参加して、自助の基本行動ルールに基づいた地震防災訓練を各ビルで同時に実施した。並行して、14時30分からは、共助、公助の基本行動ルールに基づき、新宿駅周辺防災対策協議会、事業者、医療従事者、ボランティアなどが連携して、新宿西口現地本部訓練、多数傷病者対応訓練を工学院大学新宿校舎1階アトリウムで行った。一方、15時から16時30分にかけて、工学院大学、エステック広場、エステック情報ビル、新宿中央公園で様々な防災イベントも同時に開催し、防災に役立つ実践的な知識や先進的な防災対策について学んだ。訓練の全体の流れを表1-1に示す。なお、各ビルで実施した地震防災訓練については、工学院大学で実施した訓練のみ取り上げている。

### ①地震防災訓練

□訓練実施事業者：5事業者

工学院大学、エステック情報ビル、損保ジャパングループ、住友不動産株式会社、新宿センタービル（順不同）

□工学院大学地震防災訓練の主な流れ

新宿校舎全館

14：00～14：05 緊急地震速報等を活用した危険回避行動訓練

新宿校舎14階以上高層階

14：05～14：30 自衛消防活動訓練、発災対応型訓練（図1-1左）

14：30～15：00 指定避難教室（5～8階）へ移動、安否確認訓練

新宿校舎13階以下低層階・中層階

14：05～14：30 自衛消防活動訓練、指定避難教室（5～8階）へ移動

14：30～15：00 安否確認訓練

エステック情報ビル地下1階・防災センター

新宿校舎2階Job Station前・災害対策本部

14：00～15：30 本部員参集、自衛消防活動訓練（図1-1右）



図1-1 工学院大学地震防災訓練の様子（左：高層階での発災対応型訓練、右：災害対策本部での情報整理）

②新宿西口現地本部訓練（工学院大学新宿校舎1階アトリウム）

□訓練企画・進行担当

株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント 新藤 淳（2010年10月5日現在の所属）

□新宿西口現地本部要員：10機関、19名

工学院大学(4名)、西新宿商興会(1名)、西新宿一丁目商店街振興組合(2名)、新宿ファーストウエスト(1名)、ルミネ1・2(2名)、株式会社ホテル小田急(1名)、株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント(1名)、住友不動産株式会社(2名)、新宿区区長室危機管理課(3名)（順不同、2010年10月5日現在の所属）

※オブザーバー：特定非営利活動法人危機管理対策機構(2名)

□情報提供機関：14機関

エステック情報ビル、新宿西口商店街振興組合、西新宿一丁目商店街振興組合、住友不動産株式会社、株式会社新宿アイランド、株式会社損害保険ジャパン、工学院大学、東京医科大学病院、新宿センタービル管理株式会社、野村ビルマネジメント株式会社、ルミネ1・2、京王電鉄株式会社新宿管区、株式会社ホテル小田急、京王地下駐車場株式会社（順不同、2010年10月5日現在の所属）

□新宿西口現地本部と住友ビル救護所間の情報共有の支援：4機関

日東通信株式会社、株式会社理経、ソフトバンクテレコム株式会社、株式会社日立製作所（順不同）

□新宿西口現地本部訓練の主な流れ

14：30～15：00 現地本部要員参集、現地本部立ち上げ

住友ビルからの応援要請に基づいた学生ボランティアの派遣および住友ビル公開空地での救護ボランティア活動（図1-2左）

15：00～16：00 現地本部活動（図1-2右）

16：00～16：30 講評



図1-2 新宿西口現地本部訓練の様子（左：住友ビル公開空地での救護ボランティア活動、右：現地本部での情報整理）

③多数傷病者対応訓練（工学院大学新宿校舎1階アトリウム）

□訓練企画・進行担当

株式会社イー・アール・エス 鱒沢 曜

□訓練参加者：112名

応急救護所リーダー(1名)、応急救護所医師(3名)、応急救護所看護師(3名)、  
応急救護ボランティア(27名)、現地本部連絡担当(1名)、事務ボランティア(5名)  
模擬傷病者(40名)、傷病者の介添役(6名)、訓練サポーター(20名)、撮影担当(6名)

□訓練参加機関：26機関

東京医科大学、東京医科大学病院、東京女子医科大学、東京女子医科大学病院、  
日本赤十字社東京都支部、山田クリニック（新宿区医師会防災担当理事）、  
三越厚生事業団三越診療所、榊原記念クリニック、  
工学院大学、株式会社新宿アイランド、エステック株式会社、京王電鉄株式会社、  
ニラックス株式会社、新宿郵便局、東京ガス株式会社、オリックスクレジット株式会社、  
ニューインディア保険会社日本法人、セイコーエプソン株式会社、損保ジャパングループ、  
新宿エルタワー管理株式会社、まち井・マンション生活研究会、学校法人湘央学園、  
独立行政法人産業技術総合研究所、株式会社イー・アール・エス、鹿島建設株式会社

※都合により社名を掲載していない事業者が1社ある。

(順不同、2010年10月5日現在の所属)

□多数傷病者対応訓練の主な流れ

- 14:30～15:00 応急救護所要員参集、応急救護所立ち上げ
- 15:00～15:30 傷病者(20名)受入、応急救護、トリアージ、搬送
- 15:30～16:00 傷病者(20名)受入、応急救護、トリアージ、搬送
- 16:00～16:30 講評



図 1-3 多数傷病者対応訓練の様子（左：地域の医療従事者によるトリアージ、右：傷病者情報等の整理）

④防災イベント協力機関（イベント数：19、協力機関：20機関）

□工学院大学新宿校舎地下1階

- ・傷病者救護・搬送訓練：東京消防庁新宿消防署
- ・ボランティア活動訓練：日本赤十字社東京都支部

□工学院大学新宿校舎1階現地本部前



- ・長距離無線 LAN を活用した各種実演：日東通信株式会社、株式会社理経、  
ソフトバンクテレコム株式会社、株式会社日立製作所
- 工学院大学新宿校舎 1 階総合受付前
  - ・ライフラインベンダー等展示：株式会社大塚製薬工場、大塚ベネックス LLP、  
大塚製薬株式会社
- 工学院大学新宿校舎 1 階南側玄関前
  - ・起震車体験：新宿区区長室危機管理課
- 工学院大学新宿校舎 3 階ホワイエおよびアーバンテックホール
  - ・災害活動パネル展示：警視庁新宿警察署
  - ・地震ザブトン体験：白山工業株式会社
  - ・防災への取り組み展示：工学院大学
  - ・171 体験：東日本電信電話株式会社
  - ・学生による防災イベント：神戸大学院大学、東北福祉大学、工学院大学
- 工学院大学新宿校舎高層棟 4 階
  - ・煙体験：東京消防庁新宿消防署
  - ・防災備品等の見学：工学院大学
- エステック広場
  - ・初期消火訓練：東京消防庁新宿消防署
  - ・防災備品等の展示：工学院大学
  - ・アレンジ炊き出し訓練：工学院大学、東北福祉大学
- エステック情報ビル 1 階
  - ・緊急地震速報展示：KIT システムズ株式会社、三菱スペース・ソフトウェア株式会社
  - ・オフィス防災対策展示：株式会社そごう・西武
  - ・オフィス什器の転倒防止対策展示：リンテック 21
- 新宿中央公園
  - ・マンホールトイレ設置・見学：新宿区区長室危機管理課



図 1-4 防災イベントの様子（左：マンホールトイレ設置、右：ボランティア活動訓練）

⑤意見交換会（工学院大学新宿校舎 3階アーバンテックホール）

16：45～17：45 意見交換会



図 1-5 意見交換会の様子

(4) 新都心の地域減災セミナー関係者

新規学習ニーズ対応プログラム「首都直下地震に備える施設管理者への減災対策および復旧復興マネジメント教育プログラム」が開催する「新都心の地域減災セミナー」の一環として、以下の機関が訓練への参加や訓練の検証を行った。

①BCP プログラム開発委員：12名

工学院大学、エステック株式会社、鹿島建設株式会社、東京消防庁新宿消防署、東京医科大学、株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント、東京ガス株式会社、東日本電信電話株式会社（順不同、2010年10月5日現在の所属）

②新都心の地域減災セミナー受講者：39名

株式会社イー・アール・エス、エステック株式会社、鹿島建設株式会社、歌舞伎町タウン・マネージメント、京王電鉄株式会社、株式会社京王プラザホテル、工学院大学、独立行政法人産業技術総合研究所、株式会社新宿アイランド、新宿エルタワー管理株式会社、新宿区、新宿センタービル管理株式会社、特定非営利活動法人新宿西口振興会、住友不動産株式会社、セイコーエプソン株式会社、東京オペラシティビル株式会社、東京ガス株式会社、東京ガス都市開発株式会社、東京都市開発株式会社、日本赤十字社、白山工業株式会社、平成ビルディング株式会社、まち井・マンション生活研究会、三菱スペース・ソフトウェア株式会社、森ビル株式会社、郵便局株式会社、東京消防庁四谷消防署、新宿区議会

※都合により社名を掲載していない事業者が1社ある。

（順不同、2010年10月5日現在の所属）

(5) 外部見学者（工学院大学新宿校舎 1階総合受付にて把握分のみ）

外部見学者数：111名

NTTインターネット株式会社、OFFICEMISTZ 防災ニュースレター、西新宿クリニック、アールシーソリューション株式会社、医療法人社団新宿石川病院、オリンパス株式会社、

学校法人杏林学園、財団法人日本心臓血圧研究振興会(榊原記念クリニック)、  
セントラル警備保障株式会社、シーマ・ラボ・ジャパン株式会社、総務省消防庁、東京都  
特殊救護赤十字奉仕団、東京消防庁新宿消防署、八王子市中野町甲和会、  
パルシステム生活協同組合連合会、医療法人社団石川記念会、応用地質株式会社、  
医療法人社団両陽会 新宿野村ビルクリニック、花王株式会社、海上商事株式会社、  
学校法人東京女子医科大学、株式会社 JALUX、株式会社オフィス湯澤、  
株式会社インフォマティクス、株式会社オリエンタルランド、株式会社セノン、  
株式会社コンベンションアカデミア、株式会社そごう・西武、株式会社レスキューナウ、  
株式会社映像工房 隼、株式会社京王百貨店、株式会社山武、株式会社小田急百貨店、  
株式会社新宿アイランド、株式会社京王プラザホテル、株式会社大林組、国土交通省、  
株式会社竹中工務店、京王電鉄株式会社、京王プラザホテル事務所、桜美林大学、  
財団法人消防科学総合センター、三谷産業株式会社、三菱地所藤和コミュニティ株式会社、  
小田急デパートサービス株式会社、新建新聞社東京本社、清水建設株式会社、川崎市役所、  
早稲田大学、地域減災システム研究所、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社、  
東京女子医科大学病院、東京都、東電設計株式会社、内閣府、日経BP社 Inc.、  
日本総合システム株式会社、日野自動車株式会社、郵便局株式会社、  
財団法人都市防災研究所、財団法人三越厚生事業団、株式会社オートバックスビル、  
日本放送協会(NHK)、東京医科大学病院、新宿区立西新宿小学校、大成建設株式会社、  
名古屋市立大学大学院、シティプラザ大阪、榊原記念クリニック、安田生命厚生事業団、  
新宿甲信クリニック、新都心国際特許事務所、相互住宅株式会社、情報技術開発株式会社  
(順不同)

表 1-1 平成 22 年度新宿駅西口地域地震防災訓練の全体の流れ  
 (各ビルで実施した地震防災訓練については工学院大学の掲載)

想定 時間	訓練 全体	名称	工学院大学地震防災訓練		多数傷病者対応訓練		新宿西口現地本部訓練		防災イベント
		会場	工学院大学内	防災センター、災害対策本部	工学院大学1階アトリウム		工学院大学1階アトリウム	住友ビル	新宿校舎、エステック情報ビル1階、 エステック広場、新宿中央公園
		主体	学生、自衛消防隊(地区隊)	自衛消防隊(本部員)	傷病者、医療従事者、ボランティア	現地本部連絡担当	新宿駅周辺防災対策協議会、事業者	学生ボランティア	工学院大学学生・教職員、事業者
12:00						傷病者事前説明会開始 (中層棟B0430)			
13:00						医療従事者・ボランティア事前説明会開始 (1階アトリウム)			
14:00	訓練開始(発災)	危険回避行動訓練	危険回避行動訓練	危険回避行動訓練、防災センター活動開始 本部員参集					
		自衛消防活動訓練開始 発災対応型訓練	災害対策本部立ち上げ 本部活動開始						
14:15		本部へ被害状況等報告	学内外被害状況等の把握、整理 自衛消防隊へ指示・要請						
		指定避難教室へ移動開始							
14:30		指定避難教室にて安否確認訓練				応急救護所参集		新宿西口現地本部参集	住友ビル救護所へボランティア派遣 ボランティア活動開始
						応急救護所立ち上げ		新宿西口現地本部立ち上げ	
14:45				神戸大学院大学・東北福祉大学との情報共有開始 (災害情報共有システム)					
		本部へ安否情報等報告、自衛消防活動終了							
15:00				神戸大学院大学・東北福祉大学との情報共有開始 (遠隔会議システム)	応急救護所活動開始 第1陣傷病者(20名)受入	応急救護所活動報告	新宿西口現地本部活動開始	ボランティア活動終了	防災イベント開始
					第1陣傷病者の応急救護		駆けつけ情報報告①、情報受付		
15:15					医療救護班到着 第1陣傷病者のトリアージ・搬送	搬送受入情報報告	情報整理		
					第1陣傷病者の情報整理		情報発信、情報共有		
15:30			自衛消防活動終了		第2陣傷病者(20名)受入	被害情報等報告	駆けつけ情報報告②、情報受付		
					第2陣傷病者の応急救護		情報整理		
15:45					第2陣傷病者のトリアージ・搬送	搬送受入情報報告	情報発信、情報共有		
					第2陣傷病者の情報整理		情報集約		
16:00					応急救護所活動終了	応急救護所活動終了	新宿西口現地本部活動終了		
					訓練講評		訓練講評		
16:30	訓練終了				訓練終了		訓練終了		防災イベント終了
16:45	意見交換会開始								
17:45	意見交換会終了								

